

<自己評価1回目>
※黄色のセルをすべて記入してください。

整理番号	2025P-	特別装備なし(移送車4)	補助事業者名	社会福祉法人きらきら
------	--------	--------------	--------	------------

別紙4 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(4／5)

5. 補助事業の自己評価

(a) 個別項目評価

作成日	2026	年	6	月	9	日	作成者	古閑洋介
-----	------	---	---	---	---	---	-----	------

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。						採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)					
(2) 事業内容	2025年4月24日(月)事業完了(納車日)。10人乗りのハイエースを導入した。予定より導入が遅れたが、5月頃から障害福祉サービスの生活介護事業において、ご利用者が通うための送迎サービスの提供を、月曜日から土曜日までの週6日間、朝と夕方に実施。また、サービス提供時に外出やドライブなど地域で活動を行うために車両を使用。その他、様々な社会参加を行うために車両を使用している。					
	事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
	実施計画・体制	防犯・車両委員会と安全運転管理者を中心に、車両の安全運転に向けて、日常点検、定期点検や日々の運転業務への啓発などを行っている。				採点 4
(3) 達成目標	事業の実施結果	【達成値】 2026年3月頃	【達成状況】 80%	【具体的内容】 令和8年3月31日までに事業完了の計画であったが、申請車両が生産されておらず、どの販売店も受注できないため、JKA様に相談の上「計画変更に関する承認申請」を行った。その後、自動車販売店の協力のもと遅れて4月末に納車完了した。	採点 3	
	事業の成果・波及	【達成値】 20.5名	【達成状況】 100%	【具体的内容】 1日平均利用者数:1日当たりの通所予定者30名のうち、送迎を希望している利用者約27名、そのうち約10名が整備予定の車に乗車、往復で延べ約20名が利用予定。 稼働時間:約4時間(7:30～9:30、15:30～17:30) 利用件数:1日約3件(朝夕送迎、日中活動外出 他) 稼働日数:月曜日から土曜日、年間約300日	採点 4	
(4) 情報発信	事業の実施結果	【達成値】 ①1回 ②1回 ③1回	【達成状況】 ①100% ②100% ③100%	【具体的内容】 ①法人ホームページのブログ、お知らせに掲載した(2026年5月15日) ②広報誌(毎月発行のおたより)に掲載した(2026年6月1日発行)。 ③施設内ホワイトボードに周知文を掲示する。	採点 4	
	競輪・オートレース補助金による事業であること	【達成値】 3回	【達成状況】 100%	【具体的内容】 ①法人ホームページのブログ、お知らせに掲載した(2026年5月15日) ②広報誌(毎月発行のおたより)に掲載した(2026年6月1日発行)。 ③施設内ホワイトボードに周知文を掲示する。 ④ホームページにバナーを設置	採点 4	
(5) 自己評価の体制	2026年6月2日に、理事長 西山敏雄、部長 古閑洋介、課長 中井春香、安全運転管理者 水口毅、防犯・車両委員会で評価を実施。(「評価の記録」として議事録添付)					採点 4

(b) 総合評価

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。

総合評価点	4
-------	---

(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	車両の受注ができず、予定より少し遅くはなったものの車両を導入し、順調に古い車両と切り替えられ、途切れることなく送迎サービスを行うことができている。車両の不具合による車両の急な調整などもなく、安心して送迎サービスを遂行することができている。そのため、利用者、家族も安心して送迎サービスを受け、日中サービスを受けられることに喜んでおられる。早速、地域行事への参加や余暇活動に活用し、地域の方々との交流にも大変役に立っている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	自己評価の1回目の掲載が遅れた。スケジュール確認を行い担当者で管理する。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	車両に、安全装置やナビが標準装備しており、より運転する職員への負担軽減、安全走行への配慮に繋がった。

【福祉車両・就労支援車両】

別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(5／5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「＊」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「＊」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費		
			(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な 物資等の確保)		
		＊	(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)	全国的に10人乗りの車両がどのメーカーでも生産されておらず、 受注することができなかった。	申請性を行うにあたり、情報収集も同時進行で行う。
			(5) 事業運営のノウ ハウ(進捗管理、 資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変 更(主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の 規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外 の団体等の協 力・支援		
			(10) 関連法制度 の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出現		
			(15) その他		
			(16) 特になし		